

全国ゴールデンシニアバスケットボール大会ルール ＜平成29年度版＞

1. ゲームの開始には、8名以上の選手をベンチに揃えていなければならない。
2. 競技時間は6分のピリオドを4回行い、インターバル1分、ハーフタイム8分とする（6-1-6-8-6-1-6）。

同点の場合は、コート上の選手が各チーム交互に一組ずつフリースローを行い、どちらか一方だけが成功のときにそのチームの勝ちとする。

キャプテンのジャンケンにより、勝チームが先投か後投かを選択する。

負けチームはゴールを選択し、両チームとも同一ゴールを使用する。

3. タイムアウトは第1～2ピリオドは2回、第3～4ピリオドは3回とることができる。
4. ベンチは組み合わせ番号の若いチームがオフィシャル席にむかって右側とし、ユニフォームは淡色を着用する。
但し、両チームの話し合いにより変更することができる。変更の場合は試合審判員に報告をすること。
5. ユニフォームの下にユニフォームと同色のTシャツを着用しても良い。
不着用者がいてもかまわない。
6. 混成チームのユニフォームは、番号が重ならない限り自分のユニフォームを着用することができる。
また、ビブス着用も認めるが、チームで用意すること。
7. メンバー表の提出は必要ありません。
スコアシートにはプログラムに記載の選手名簿より転記する。

~~大会当日のユニフォーム番号変更は認めません。~~

8. 大会運営上の問題が生じた場合は、主催者の判断により決定する。

※ 上記以外は現行公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則に基づく。

※2017年4月13日付「バスケットボール競技規則・解説追加部分の概略」適用